

■足利基氏 初代鎌倉公方。庶民に心に向けた仁慈の行政によって室町幕府の関東支配体制を確立。

あしかがもとうじ

・ ・ ・ ・ ・ 1340= 足利尊氏の子に生まれる。母は正室赤橋登子。

尊氏の弟足利直義の猶子となり、

・ ・ ・ ・ ・ 1344= 4歳：学問始・着袴。

足利義詮入京1349=**9歳**：直義と対立した高師直のクーデター後の和解条件で、上洛した兄義詮に代わって、関東支配のため、鎌倉府に下向。初代鎌倉公方となり、義詮時代の執事上杉憲頭と高師冬がそのままサポートするが、

観応の擾乱始1350=10歳：病に罹る。クーデターを起こした師冬を憲頭が鎮圧して、深く信頼するようになり、

・ ・ ・ ・ ・ 1351=11歳：判始。直義勢力に担がれて、関東を転々するが、父尊氏が下向してくると、対立を避けて、安房に忍居。

観応の擾乱終1352=12歳：尊氏と直義の講和が成り、鎌倉に戻り、元服。直義は尊氏に毒殺され、足利氏の内紛に乗じて挙兵し、宗良親王を擁した新田氏に、鎌倉を占拠されるも、反撃し奪還。従五位下左馬頭。

・ ・ ・ ・ ・ 1353=13歳：京へ戻る父尊氏の命で、補佐畠山国清を置いて、前線入間川へ出陣し新田軍と対峙、
在陣中、雅楽家豊原成秋を召して、笙を学んだほか、関東諸寺院に寄進。

足利尊氏死・1358=**18歳**：***父尊氏が死去。新田義興が陣中で死去すると、基氏方へ寝返りが相次ぎ、兄義詮の將軍就任後、**

・ ・ ・ ・ ・ 1359=19歳：**鎌倉に帰還。この年、円覚寺住持に義堂周信を招き、以後、親交、**

・ ・ ・ ・ ・ 1361=21歳：**謀反を起こした畠山国清を伊豆で撃破し、**

・ ・ ・ ・ ・ 1362=22歳：**関東から追放。この年、義堂周信と瑞泉寺で花見。禁制を發布し、自らの悩みを高僧に率直打ち明け、**

山名時氏征討1363=23歳：***出家していた上杉憲頭を、反対する宇都宮氏・芳賀氏を自ら出向・討伐してまで呼寄せて関東管領にし、**

・ ・ ・ ・ ・ 1364=24歳：世良田義政を誅伐。従三位に叙され左兵衛督となって公卿に列する。

・ ・ ・ ・ ・ 1365=25歳：般若心経を書写。

領国の安定化に努め、

細川頼之管領1367=**27歳**：**没した。死因は麻疹と伝わるが自殺説もある。**